



①取材後は文章を書くライターやカメラマン、イラストレーターなどに役割分担。撮影した写真をもとに絵を描いていきます。
②みんなで話し合いながら作りあげます。編集のための意見はときには激しくぶつかることもあります。③テーマに沿ったイラストはステキな出来栄えに。④取材した内容をもとに、みんなで相談しながら記事を書いていきます。
右ページ／取材の感想を地域の人々に発表。子どもたちが地域の魅力を伝える様子を、多くの出席者が感慨深く見守りました。
地元のお祭りで出来たての『西多久見聞録』を配布。子どもたちの目に映る、ふるさとの魅力が詰まっています。





こどもおぎなう

(株)音成印刷



子どもたちが企画・取材したフリーペーパーを発行。

『おぎなう』は株音成印刷が発行する、小城のフリーペーパーです。『おぎなう』制作スタッフとともに実際に冊子を制作するプロセスを経て、小城の町で活躍する事業者をテーマとした『こどもおぎなう』を発行しました。

①ツールも本格的。名刺やユニフォーム・ノートなどの取材用品が支給されました。 ②小城の町を代表する酒蔵の「天山酒造株」を取材。普段は入れない酒蔵の現場でいろいろな説明を聞き、誌面のアイデアをふくらませます。 ③取材をはじめる前にキチンとご挨拶。名刺を交換してからはじめます。 ④取材では緊張しながらも、いろいろな質問を事業者にぶつけていきます。



①まずは手書きで取材内容をまとめています。誌面が限られているので、たくさんの伝えたいことに優先順位をつけていきます。

②③子どもたちが撮った写真や文章、誌面の手書きラフをもとに、プロのデザイナーが版下データを作成。大判で印刷されたもの(カットされる前のもの)をみんなで確認しました。

④実際に取材させてもらった事業所に完成した『こどもおぎなう』を

“納品”します。子どもたちが直接持っていくことで、取材先の方も大喜び。

右ページ／スタッフのみんなと記念撮影。「将来の夢の選択肢が増えた」という参加者からのステキな感想も。





ドリームハンズ2018 ~未来の主人公~

嬉野市商工会青年部

未来の主人公はキミだ！仕事の現場を体験しよう。

嬉野市商工会青年部が地域の仕事を知り、将来の夢へつなげてほしいと平成25年から実施しているドリームハンズ。今回は160名以上が参加する大規模なものになりました。その職種は旅館・美容師・板金塗装屋・警察官や議員まで23種類以上。当日はセレクトした2つの仕事を体験します。「第2、第3希望だった仕事が意外と楽しかった！」なんて新たな発見も。



①消防士の仕事では本物の装備品を身につけます。重い防火服は着るだけでも大変！ ②保育士の仕事。絵本の読み聞かせ、上手くできるかな。 ③テレビの仕事では他の仕事体験のインタビューなども行いました。 ④トリマーの仕事も人気です。



①パン屋の仕事。衛生管理の大切さも学びました。 ②議員の仕事。静かで重厚な雰囲気に普段は元気な子どもたちも緊張気味。

③たくさんの人の協力で、多くの子どもたちが働くことの楽しさや大切さを感じることができました。

右ページ／参加者には修了証が授与されました。みんなうれしそう！



斬新な創造力や発想力、有り余るエネルギーや好奇心など、子どものチカラ、「コヂカラ」ってすごいですね。しかし、受け身教育や社会体験不足などにより、子どもたちにとって「コヂカラ」を伸ばし活かす機会が減っています。

一方、良いアイデアが浮かばず将来の展望を描けない企業と、商店の衰退や人口減少により弱体化している地域コミュニティも少なくありません。

すごいチカラを持っているのに、それを伸ばすどころか弱まるばかりの子どもたち・・・

世界有数の活気を誇っていたが、弱体化に歯止めがかからない日本企業や地域社会・・・

そこで、「子どものチカラで社会を変え、社会に役立つことで子どもが伸びる」という、「子どもと大人の共同事業」を推進することが、これら苦境からの脱却には必要なではとの想いから、NPO 法人コヂカラ・ニッポンを立ち上げました。企業・行政・地域などは、子どもの意見を真摯に聴き、職場に「同僚」として招き入れ、彼ら彼女らの創造力・発想力・好奇心・工夫する力・遊び心・エネルギーなどの「コヂカラ」を、借りてみたらどうでしょうか。きっと、職場が活性化し、新しいアイデアが生まれ、職員や店員のモラルが向上し、社員の人材教育にもなり、将来のファン（新入社員や顧客）の獲得につながり、明るい未来展望が見えてくるはずです。

子どもたちは、企業や店舗などの実社会に参画し、実際に大人（仕事）の役に立つという経験をしてみたらどうでしょう。きっと、主体性・社会性・協調性・問題解決能力・コミュニケーション能力・耐える力・やり遂げる責任感などを身に付けるはずです。



今回、「コヂカラ」を活かした具体的な事業を佐賀県内で複数、実行していただきました。山口知事はじめ、参画いただいた団体の皆さんに深く感謝申し上げますとともに、佐賀っ子たちの「コヂカラ」の高さには驚きました。ぜひ、これらを更に深め、そしてこの事業が「佐賀モデル」として、全国に広がることを期待しています。

NPO 法人 コヂカラ・ニッポン 代表 川島 高之







佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>



佐賀県子育て応援
キャラクター
さがっぴい



<https://saga-kosodate.jp/kosodate/taikens/>

こそだたいけん“さか”

発行：佐賀県 男女参画・こども局 こども未来課
〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 tel.0952-25-7381 fax.0952-25-7339
✉ kodomomirai@pref.saga.lg.jp

子育てしたい県 さが <https://saga-kosodate.jp/>